

佐世保西高で「どのような生徒を育成するか」(育成したい資質・能力)

育成したい資質・能力		〇〇力を身に付けさせるためにどのような授業を展開するか(各教科)													どのような学校行事で育成するのか			
例	〇〇力	～できる力	国語	地歴公民	数学	理科	英語	音楽	美術	書道	保健体育	家庭	情報	研修部関係	教務部	生徒指導部	進路指導部	生徒会指導部
知識・技能	探求力	学問における基礎・基本を徹底し、問題解決に役立てることができる力	語句等の解説、小テストの実施。語彙力を増やす。	用語を解りやすく解説する。小テストの実施などで基礎知識の定着を確認する。	既習事項の小テストを実施し、知識の定着を確認する。	授業の振り返りを行う時間を設定する。	前時の復習やフィードバックの内容をペアやグループワークで共有し、小テスト等で確認を図る。	・取り扱う楽曲についてワークシートを作成する。 ・楽曲ごとに基礎的な楽典の小テストを行う。	・単元ごとにカラープリントを作成し、基礎基本の知識を充足すると共に実技を伸張する。	・学習プリントを作成し、基礎的な知識の定着を図り、書写能力の向上に努める。	話し合いの場を設定し、自分の言葉で伝える。	身近な生活の中から課題を見つけ出し、改善の方法を考える時間を設定する。	情報機器の基礎・基本的な使用方法をマスターするとともに、活用力を身に付ける。	【総学・総探】「何のために学ぶのか」ということについての意義や流れを理解させる。	校内実力テスト、定期考査、ビブリオバトル、朝の10分間読書		放課後講座・夏季講座・冬季講座・春季学習会・各種模擬試験・英語外部試験	SAKURAフェス・歓迎遠足・西高祭
	プレゼン力	ものごとを自分の言葉で分かりやすく伝えることができる力	自分の考えを発表する場を設ける。(グループ発表、ペア発表、1人で全体発表)	自分の意見や見解を提示する機会を設定する。	授業内で発問を効果的に行う。演習問題を板書させ、説明をする機会を設ける。	各単元において自分自身の考えを発表する場を設定する。	教科書のLessonテーマについて、プレゼンの目的・相手や構成・表現方法などに関するスキルを紹介し、段階を踏んでその向上に努めさせる。	・鑑賞の授業内でプレゼンテーションの時間を設ける。	・自己の作品について講評を行い、自己評価を書く。	・書道の基礎的な知識や古典の歴史的背景について考えたことをグループや全体に向け発表する時間を設定する。	話し合いの場を設定し、自分の言葉で伝える。	自分の考え、学びを発表する場を設定する。	自分の考えや学びを自分の言葉で発表できる機会を設ける。	【人権集会・平和教育】生徒が人権・平和について考えたことを発表させる機会を作る。	三者面談、ビブリオバトル		推薦入試個別指導・小論文セミナー・インターンシップ・英語外部試験	歓迎遠足・西高祭・生徒会役員選挙・生徒総会
	対話力	他者と意思疎通をはかるとともに、自分と向き合うことができる力	相手の意見を聞いて自分の考えをすり合わせながら深める。(グループ対話、ペア対話)	ペアワークやグループ学習の時間を設定する。自己の意見を正しく伝え、他者の意見を吟味して結論を導き出す力を養う。	答案をグループで共有し、互いの理解度を向上させる機会を設ける。	問題演習などグループ活動で取り組む時間を設定する。総合的探究の時間と連動し課題研究に取り組ませる。	ペアワークやグループワークの方法・意義を実践的に学ばせるとともに、その成果・課題を自己評価用紙で振り返らせる。	・授業内に楽曲について話し合ったり、発表しあったりする時間を設ける。	・他者との作品鑑賞を行い、作品の感想を伝え、自他の励みとする。	・鑑賞活動を通して、ものの見方や考え方を広げる時間を設定する。	話し合いの場を設定し、自分の言葉で伝える。	ペアやグループ学習の場を設定する。	他者の考えや意見に対し、正しく評価するとともに感想を述べ合う機会を設ける。	【新入生研修】グループエンカウンターを行い、入学時から他者に自分の意見を伝えることの大切さなどを知らせる機会を作る。	ビブリオバトル		推薦入試個別指導・インターンシップ・英語外部試験	西高祭・校内球技大会・歓迎遠足・生徒総会・生徒会役員選挙
思考力・判断力・表現力	論理的思考力	因果関係を整理し、順序だてて考えることができる力	評論文…論構成、展開に留意して読む。物語文…出来事、心情、行動の流れを意識して読む。それを意識して個人で読解させる。	事象、事件に関し、生徒自らが原因・結果を考察する時間を設定する。発表の際は、文章化させ記述力も養う。	文章量の多い問題を与え、記述式の答案を添削する。	実験の手順を考慮して行う。実験レポートを作成させる。	英文読解の際に、筆者の結論と理由づけ等、スピーチの内容に合った構成に着目させるとともに、自己表現の際の着眼点として、指導・強化を図る。	・歌や器楽曲を練習する時、どのように練習を行えば効果的かを各々考える。	・プリント学習を通して制作の手順や方法を自分なりに考える。	・創作の単元において、表現効果と作品の構想とが密接にかかわることを理解し、それを自己表現へ応用する時間を設定する。	目標を明確にし設定できる時間を設定する。	実習の目標と時間を設定し、達成のための手順を考えさせる。	目標の明確化とそれに到達する手順を考える時間を設定する。	【総学・総探】リサーチクエストに基づく調査・研究を行わせる中で、どのように伝えていけば、よりわかりやすく伝わるか考えさせる。	朝の10分間バトル、読書感想文		表現力プロジェクトによる小論文指導	西高祭・生徒総会・生徒会役員選挙
	批判的思考力	常識にとらわれず、多角的に考えることができる力	テーマに対する自分の考えや、感想を書かせる時間を設定する。教材の中にある「隠れた前提」を意識して読解させる時間を1時間は設定する。	文章・資料から読み取った情報をもとに推測・考察・共有する時間を設定し、多面的な思考力を育てる。	別解を考える機会を設ける。	実験結果から得られた結果やデータをもとにして、考察に取り組みさせる。	意見が対立するテーマの文章について、個人・ペア・グループ等状況に応じてマインドマップやKJ法を活用して、思考を深めさせ、意見を述べさせる。最終的には、ディスカッションやディベートで相手の意見への反対意見を瞬時に述べられるようにさせる。	・自分や他者の意見や演奏を聴いて意見や思いを伝える時間を設ける。	・多くの画家や作品を知り、表現の世界の奥深さを知る。	・鑑賞活動を通して、多角的見方で作品を鑑賞する力をつける授業を行う。	目標を明確にし設定できる時間を設定する。	データや資料、他者の意見を考察し、批判的な意見を考えさせる。	1つの考えだけでなく多方向から物事にアプローチする力を養う。	【平和学習】戦争はなぜ起きたのか、被害だけでなく加害についても多角的に学ばせる。	朝の10分間バトル、読書感想文		表現力プロジェクトによる小論文指導	生徒総会・生徒会役員選挙・芸術鑑賞
	意思決定力	目標を達成するために、複数の選択肢の中から最適なものを選ぶことができる力	目標を達成するための、複数の選択肢を思考させる時間を設定する。読解においても、表現においても複数の選択肢を記述させていく。	目標を明確にした授業を展開し、そこで得た知識を用いた問題演習を実施する。	難易度別の課題を設定し、生徒自身に選択させる。	目標を設定し、1時間の授業内で問題演習に取り組ませる。	Can-doリストを生徒に提示し、自分の目指すべき目標を設定して年度初めに行うことで、自分の研究課題を見つけ出し、決定する手助けをする。さらに各学期末にその成果の検証・修正を行う。	・グループ練習を行い、様々なパターンの表現方法や練習方法を考えさせ、その中から選択させる。	・多くの表現の中から自己の手法や表現を選択する。	・創作の単元において、作品のイメージや制作意図にあった用具・器材・参考作品を選び、制作へ生かす時間を設定する。	目標を明確にし設定できる時間を設定する。	目標や課題を設定し、問題解決方法を思考させる場を設定する。	多方向からのアプローチより最適な問題解決方法を思考させる時間を設定する。	【総学・総探】リサーチクエストを立て調査・研究させる中で、自分に必要なものを選択させる。			難関大講座・ハイレベル模試・オープンキャンパス参加・模試における志望校選定	生徒会役員選挙・校内球技大会・募金活動
学びに向かう力・人間性	自己管理能力	自分の生活や行動をコントロールできる力	教員の時間管理に基づいて、生徒が時間管理、設定を守るように声をかけをしていく。思考する時間の設定(2分)など。	時間を設定した問題演習を行う。課題の計画的な実施やその提出を行わせる。	課題の提出期限を設定し、それを厳守させる。	課題の提出期限を設定する。問題演習に取り組む時間を設定する。	課題提出について、事前に提示された計画表を元に、優先順位を付けながら、自己の取り組みについて、PDCAサイクルの点から評価させる。	・授業の開始時間や授業中など授業規律を徹底させる。	・授業の開始、終了時間、及び作品提出の徹底を行う。	・用具・用材を正しく使い、管理を徹底することができるよう適宜指導を行う。	学校行事を通してリーダーを育成する。	課題の提出や教材の管理、道具の後片付けを徹底させる。	物事に対する優先順位の設定の仕方を適宜指導する。	【総学・総探】探究の一連の流れを、発表・完成予定までの計画を立てさせるとともに自己評価表を用いて振り返りを行わせる。	式典関係(始業式、終業式、入学式、卒業式)	容儀検査、避難訓練等	校内学習会(1年)・平戸学習合宿(3年)・コモンホール学習・Classiの使用	左石清掃・生徒総会
	探究力	ものごとの意義・本質について明らかにすることができる力	問の設定。本質をつくり発問を1題投げかける。	グラフ・図表などから社会的な事象を読み取る時間を設定し、生徒自ら考察する力を身に付けさせる。	日常生活における課題解決をする問いを投げかけ、既習事項を用いて考えさせる。	実験で得られた結果やデータから問いを投げかけ、総合的探究の時間と連動して、課題研究に取り組ませる。	生徒が自ら問い立てをするために必要な型・手順を指導するとともに、生徒の興味や関心を具体的な課題に結びつけ、解決するためのアドバイスを行う。	・何か楽曲を取り上げる時や練習を行う時に「なぜこの曲なのか」、「なぜこの練習を行うのか」を説明し考えさせる。	・単元の内容を熟慮し、制作に取り組む。	・基礎的な知識・技能を生かし、書体や書の文化とその時代が密接にかかわることに関心をもてる授業。	学校行事を通してリーダーを育成する。	身の回りの生活の中から課題を見つけ出し、改善の方法を考える時間を設定する。	問いに対する答えが本当に正しいかあらゆる機器を使用し検証する時間を設定する。	【総学・総探】探究する意義や探究の流れを理解させる		進路講演会・職業別講演会・出前講座等の各種講演会・インターンシップ	生徒総会・生徒会役員選挙	
	協働力	集団における目標を共有し、ともに活動することができる力	グループ活動を教材に1回は入れる。役割分担を明確にし、授業後には自己評価、他者評価等のリフレクションシートを行う。	グループワーク等として、多角的な考察力を身に付けさせる。	日常生活における課題解決をする問いを投げかけ、グループで解決を図る機会を設ける。	グループ学習を設定する。グループで取り組む実験を設定する。	ペアワークやグループワークを行わせる際に、「If, what, why, how」のどれかの視点から内容を深めさせる指導を行う。	・グループで考えさせたり、演奏させたり、発表させたりする時間を設ける。	・グループ活動、相互の教え合いを通して制作に取り組む。	・グループでの活動において、積極的にかわり、進んで問題解決しようとする授業。	学校行事を通してリーダーを育成する。	実習を通して、分担や教え合いをしながら活動する場を設定する。	実習や課題解決についてグループでの活動を促すとともにリーダーを育成する。	【人生の達人セミナー】グローバルシティにやる計画・運営をさせる。	式典関係(始業式、終業式、入学式、卒業式)		進路講演会・職業別講演会・各種講演会・難関大学習交流会(2年)	西高祭・校内球技大会・歓迎遠足・生徒総会・左石清掃・高総体応援